

放射能関係のお知らせ

2016年7月1回(C週)

お届け日:2016/7/4~7/8

発行日:2016/6/20

pal*system
生協 パルシステム

○カタログ掲載青果について放射能自主検査の結果をお伝えします。

○新規ご利用の組合員さんへ:初回利用から7週間までは全員に配付しておりますが、7週を過ぎますと自動的に停止します。継続配付をご希望の方は、注文番号「190888」を記入の上お申し込みいただければ2週目から配付されます。タベソダでは紙でのお届けをしておりません。インターネットでのご確認をお願いします。

○配付中止をご希望の場合は、「190900」を注文の際にご記入ください。ご記入後2週間で配付が停止いたします。

●青果 放射能が検出されていない産地(セシウム 134,137 それぞれ 3Bq/kg 以下)

分類	品目名	放射能検査の状況	
果物	小玉すいか	品目で検査済	北つくば・茨城・常総産直
		検査予定	ふるさと・こまち
さくらんぼ		品目で検査済	雄勝・天童・さくらんぼひがしね・米沢郷・錦の会・山形マルタ
		検査予定	さがえ西村山
すもも		品目で検査済	小田原・御坂・フルーツ山梨
		検査予定	やはた会・勝沼・こま野・中野
デラウェア	検査予定	おきたま・やはた会・東光寺・勝沼	
ブルーベリー	品目で検査済	庄内たがわ・狭山	
	検査予定	新しいわ・小田原	
メロン	品目で検査済	茨城・旭村・ほこた	
	検査予定	鶴岡・庄内みどり	
桃	検査予定	ふくしま未来・御坂・やはた会・ふえふき・サンファーム	
りんご	品目で検査済	八峰園・ゴーランド農園	
いんげん		品目で検査済	茨城・元気会・佐原・南伊豆
		果菜類で検査済	あいづ・たまつくり・やさと
	検査予定	軽米町・かづの・ふくしま未来・谷田部・草の会・佐久ゆうき	
枝豆	品目で検査済	野菜くらぶ・利根川	
	果菜類で検査済	佐原	
	検査予定	谷田部・常総産直	
オクラ		果菜類で検査済	あいづ・野菜くらぶ
		検査予定	庄内たがわ・谷田部・やさと・村悟空・サンド旭・和郷・風土の会
かぼちゃ	果菜類で検査済	あいづ・谷田部・茨城・たまつくり・佐原・八街・和郷	
	検査予定	佐久ゆうき	
きゅうり		品目で検査済	こまち・夢みなみ・あいづ・みちのく野菜・茨城・たまつくり・野菜くらぶ・邑楽館林・村悟空・佐原・サンド旭・和郷・草の会
		果菜類で検査済	谷田部・沃土
	検査予定	新しいわ・ふるさと・かづの・二本松・やさと・水の里センター	
ししとう	果菜類で検査済	サンド旭・和郷	
スナップえんどう	品目で検査済	あいづ	
ズッキーニ	品目で検査済	グットファーム	
	果菜類で検査済	沃土・八街・風土の会・飯山	
	検査予定	草の会・水の里センター・佐久ゆうき	
トマト		品目で検査済	あいづ・みちのく野菜・谷田部・有機農法ギルド・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・いちかわ
		果菜類で検査済	夢みなみ・茨城・たまつくり・元気会・村悟空・サンド旭・和郷
	検査予定	こまち・かづの・佐久ゆうき・草の会	
とうもろこし	果菜類で検査済	谷田部・茨城・野菜くらぶ・沃土・村悟空・八街・和郷	
	検査予定	海上	
冬瓜	検査予定	常総産直・三浦市	
なす	果菜類で検査済	谷田部・茨城・有機ギルド・たまつくり・野菜くらぶ・沃土・佐原・八街・和郷・風土の会	
にがうり	果菜類で検査済	谷田部・茨城・たまつくり・沃土	
	検査予定	常総産直	
ピーマン	果菜類で検査済	あいづ・谷田部・茨城・沃土・村悟空・佐原・八街・和郷・風土の会・グットファーム	
ミニトマト	品目で検査済	庄内たがわ・茨城・あゆみの会・元気会	
	果菜類で検査済	あいづ・野菜くらぶ・草の会・沃土・村悟空・佐原・サンド旭・和郷・風土の会・佐久ゆうき・ながの	

2016年7月1回(C週)

お届け日:2016/7/4~7/8

発行日:2016/6/20

●きのこ類

放射能が検出されていない産地(3Bq/kg 以下)

品目名	放射能検査の状況
えのき茸	品目で検査済 飯山
エリンギ	品目で検査済 小川きのこ・南伊豆・渡辺のこ
しめじ	品目で検査済 谷田部
なめこ	品目で検査済 谷田部
ぶなしめじ	品目で検査済 谷田部
まいたけ	品目で検査済 雪国
マッシュルーム	品目で検査済 村悟空・三蔵
谷田部の若手生産者きのこセット	品目で検査済 谷田部 *しいたけからは放射能が検出されました。

●検出された商品

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
生しいたけ(原木栽培)	谷田部	2016/6/15	3.5
徳用生しいたけ(原木栽培)			
お料理セットの生しいたけ			
谷田部の若手生産者きのこセットのしいたけ			
谷田部の原木しいたけ(はねだし)			
パルシステムの独自ガイドライン			100
政府の基準値			100

品目名	産地名	報告日	セシウム Bq/kg
栃木こしひかり(玄米で検査)	日本の稲作を守る会	2015/10/30	6.0
パルシステムの独自ガイドライン			
政府の基準値			100

注文番号	商品名	報告日	セシウム Bq/kg
コトコトきなり	246 ひき肉と春雨のオイスター・ソース炒めセットのしいたけ	2016/5/4	5.7
コトコトきなり	284 塙々マーボー豆腐セットのしいたけ		
コトコトきなり	248 塙々マーボー豆腐セットのしいたけ	2016/6/15	3.5
コトコトきなり	286 パルシステムの独自ガイドライン		
コトコトきなり	政府の基準値		100

●青果の検査分類表

大分類	中分類	代表的な品目名
果実(くだもの)	—	みかん、りんご、いちごなど
果菜	果菜	きゅうり、トマト、なす、オクラなど
	未成熟豆類	枝豆、いんげん、スナップえんどうなど
葉菜	結球性・非結球性葉菜	アスパラ、キャベツ、白菜、ほうれん草、小松菜、ねぎなど
	花薺・茎菜	ブロッコリーなど
根菜・いも類	根菜	玉ねぎ、人参、しょうがなど
	いも類	さつまいも、里芋など

●青果の検査について

* スペースの都合上、産地の県名は省略しています。

* 北海道を除く東日本(新潟県・長野県・静岡県以東の本州17都県)のカタログ掲載産地において、分類ごとに一品目以上検査をしています。報告の時点で検査が間に合わない品目については、供給前までには放射能検査を実施します。

* 旬のある果物などの検査は、シーズンでの収穫の時期のみになりますが、それ以外はおおよそ半年に1回以上の頻度で検査を行なっています。検査の日付は省略しています。

* 検査対象地域でも放射能検査を実施している場合がありますが、掲載は省略しています。

* yumyum 果物セットにセットされている果物は、検出下限値1Bq/kgで検査を行っています。

●青果以外の牛肉・卵・食肉類・米および、加工品の対象商品はすべて検査をしています。

* 酒類はみりんと料理酒以外は検査対象外とさせていただいています。

放射能拡散 5 年めの対策 その7

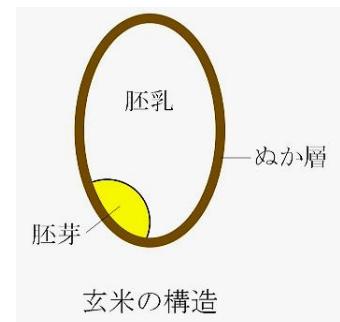
3.11 の東日本大震災では大きな範囲で甚大なる被害をうけました。福島第一原発事故により、その被災はさらに重大な事故へと発展し、多くの人に影響を及ぼしました。現状を見つめ、どのように食材を選んでいくのか、また処理をしていくのかを検証します。

各自治体が行っている放射能検査の結果からは、セシウムがまだ検出されています。他の核種についても、検体数が少ないながら、原子力規制庁や水産庁などでストロンチウム 90 やプルトニウムの検査を行っていることを前回まで確認しました。

過去に大気核実験や Chernobyl 事故の影響で、日本においても放射能が検出され、農産物や畜産物への影響について積極的に研究がされていました。

米

● 放射能が蓄積しやすい場所



● 米の放射能を除去するために

米の場合は、胚芽やぬかの部分を除いた胚乳のみとなった精白米がもっとも放射性物質が除かれた状態です。放射性セシウムの除去は、

玄米を研ぐだけだと 7% の除去しかできませんが、玄米を半搗き米にしてから研ぐと 45% を除去でき、玄米を精米にして研ぐことで 72~78% を除去できます。

精米をとぐことで 30~40% 放射性セシウムが除去できます。

3 回以上研ぐことで除去率が最も大きくなります。それ以上研いでも除去率はかわりません。

また、白米は水分を吸収しているため、重量当たりの放射性物質は少なくなります。たとえば、米で 3Bq/kg であっても、ご飯では約 1.5Bq/kg になります。

● パルシステムのお米

昨年度は、日本稻作を守る会のコア・フードの栃木こしひかりの玄米から検出がされました。ぬか・胚芽を取り除いた精白米でのお届けをいたしました。2016 年産米についても供給前に玄米で検査を行います。無洗米でも、表面上のゴミ・ほこりなどのためにさらっとすすぐでからのご利用をお勧めいたします。

行政検査の検出情報

● 厚生労働省発表「食品中の放射性物質の検査結果について(第 984)」(2015/8/3~2016/6/3 で採取・購入された検体検査)より国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 以上検出された検体は以下の通りです。

タケノコ: 宮城県丸森町 230・150・130・120・110Bq/kg

国の定めた基準値セシウム合計 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

タケノコ: 宮城県丸森町・栗原市・大崎市 8~93Bq/kg
原木シイタケ: 宮城県加美町・群馬県桐生市ほか 8.9~27 Bq/kg
ツキノワグマ肉: 山形県米沢市 20~53 Bq/kg
ヒメマス: 栃木県日光市中禅寺湖 47~50Bq/kg
イワナ: 宮城県名取川 24 Bq/kg
ウナギ: 茨城県霞ヶ浦(北浦) 19~21 Bq/kg
ヒメマス: 栃木県日光市 46~52Bq/kg
イワナ: 宮城県・群馬県東吾妻町 9~43Bq/kg
ウナギ: 茨城県 20~29Bq/kg

● 福島県より発表された「農林水産物緊急時モニタリング検査結果」より、国の定めた基準値 100Bq/kg 未満で検出された検体の上位数点です。

干しゼンマイ: 福島県下郷町・会津美里町ほか 15~35Bq/kg
乾シイタケ: 福島県昭和村・喜多方市 25~34Bq/kg
コイ: 福島県本宮市(阿武隈川水系) 13~48Bq/kg
イワナ: 福島県福島市(阿武隈川水系)ほか 11~34Bq/kg
ウグイ: 福島県郡山市猪苗代湖 22Bq/kg
シロメバル: 福島県富岡町 31Bq/kg
ハバガレイ: 福島県いわき市・大熊町ほか 7.6~30Bq/kg
ヒラメ: 福島県新地町 28Bq/kg
クロソイ: 福島県富岡町 28Bq/kg
イシガレイ: 福島県新地町 26Bq/kg
コモンカスペ: 福島県いわき市 20Bq/kg
ネマガリタケ: 福島県大玉村 20Bq/kg

5 月～6 月の放射能検査状況

5 月は、しいたけは原木しいたけから 2 件 (6.7、9.1Bq/kg)、お料理セットのしいたけから 3 件 (5.2、5.7、14Bq/kg) 検出がありました。青果は、ジョイファーム小田原のバレンシアオレンジより 3 件中 1 件 (3.2Bq/kg) が検出されました。

6 月は、13 日まで、しいたけは原木しいたけから 1 件 (3.1Bq/kg) 検出がありました。乳幼児用食品は、検出下限値を 4 月から 1Bq/kg に下げましたが、現在まですべて不検出です。

検出された商品は、すべて自主基準以内の検出でした。

放射能検査の状況(検査件数、かっこ内は検出数、網がけは検出された分類)

	5 月	6 月		5 月	6 月
青果	78 (1)	31 (0)	卵	0 (0)	0 (0)
しいたけ	8 (5)	2 (1)	魚介類	23 (0)	14 (0)
他のきのこ類	9 (0)	4 (0)	飲料水・飲料	13 (0)	1 (0)
米・米飯類	0 (0)	0 (0)	乳幼児用食品	95 (0)	16 (0)
牛乳・乳製品	13 (0)	1 (0)	その他加工食品	103 (0)	42 (0)
肉類	0 (0)	6 (0)	合計	343 (6)	117 (1)

2015 年度以降の放射能検査の状況

青果	2016 年 5 月に小田原のバレンシアオレンジの 3 件中 1 件から 3.2 Bq/kg が検出されました。2016 年 1 月に小田原の伊予柑から 5.3 Bq/kg、2016 年 2 月に小田原のはっさくから 4.8Bq/kg が検出されました。
しいたけ、他のきのこ	生しいたけ (3.1~24Bq/kg) で放射能が自主基準内で検出されました。他のきのこ類は放射能不検出です。
米	2015 年産新米の検査が玄米で 28 産地 69 件実施されました。そのうち、コア・フードの栃木こしひかり (日本稻作を守る会) では 20 件の玄米の検査を行い、1 件から自主基準内の 6.0Bq/kg 検出されました。精白米で検査を行った結果、不検出でした。こちらは精白米でお届けしています。* 2016 年産米については、供給前に玄米で検査を行います。
牛乳、肉、卵	産地ごとに定期的に検査しており、今年度放射能は検出されていません。
魚介類	魚介類で放射能は検出されていません。2015 年度は魚からの検出がありませんでしたので、放射性ストロンチウムの検査は行っておりません。
乳幼児用食品	検出下限値 1Bq/kg で検査を行っておりますが、すべて不検出です。
その他加工食品	〈お料理セット〉 肉・豆腐などは定期的に検査を行っています。野菜のみを毎月検査を別途行っています。菌草類については毎週検査を行っており、しいたけ (3.4~11Bq/kg) とまいたけ (3.4~17Bq/kg) から自主基準内ですが検出されています。その他の菌草類からの検出はありません。 〈しいたけ〉 岩手県産乾しいたけ・小粒どんこ (8.3Bq/kg) から自主基準内ですが検出されています。 〈大豆加工品〉 豆腐、納豆、味噌、醤油など大豆加工品は、2014 年産原料より放射能は検出されていません。一部の豆腐、納豆で、2015 年産原料の放射能検査を実施しておりますが、放射能は検出されていません。

パルシステムの放射能検査について

● 独自ガイドライン(自主基準)と検出限界について

パルシステムでは食品の残留放射能について独自ガイドライン(自主基準)を設定しています。放射線にはこれ以下なら安全という「しきい値」がないので、基準以下であっても、放射能低減を追求します。検査の結果、自主基準を超えるものについては供給いたしません。また、独自ガイドラインは継続的に見直しを行ないます。

自主基準(独自ガイドライン)(セシウム 134,137 の合計)			国規格基準
2014 年 10 月より現行基準	現	旧	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、乳幼児用食品	10	10	水、飲料茶 10 乳児用食品、牛乳 50
青果類(きのこ類除く)、肉類、卵、魚介類、その他食品、きのこ類(しいたけ除く)	25	50	一般食品 100
しいたけ	100		

* 乾燥食品は生原料や摂食状態で検査します。(単位 Bq/kg)

乳幼児用食品は「yumyum」掲載商品とインターネットの赤ちゃん推奨商品。

検出限界(セシウム 134,137 それぞれ)		
2016 年 4 月 1 日から新基準に変更	新	旧
乳幼児用食品	1	
水、飲料、牛乳、乳製品、米、青果類、肉類、卵、魚介類、その他食品	3	3

● 放射能検査の対象範囲について

農畜産物とその加工品	北海道を除く東日本産(新潟・長野・静岡以東の本州産)
水産物とその加工品	日本沿岸・近海・一部の北太平洋・淡水産水産物

* 採取禁止地域より採取されたコシアブラが道の駅で販売され、回収される事例がありました。
計測されていない、または、計測結果を公開していない食品および、天然の川魚やジビエ、山菜、きのこ類などに注意をしてください。